

松井秋彦 Yordan Markov 古館由佳子

piano

gadulka

violin

2018 12月15日(土)

開場 19:00 ※時間がイレギュラーです。

開演 19:30~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000 円+2drinks order

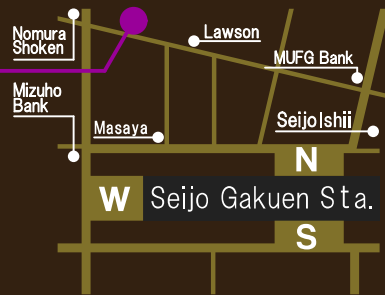
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



松井秋彦

パークリー音楽大学に奨学生として在籍中あらゆる賞を受賞して、各紙で絶賛され、在学当時からハイレベルのマルチインストゥルメンタリスト(Piano,Guitar,Bass,Drums)、そして作編曲家として、マルチモーダル、ポリリズム、変則連符など多方面において前例のない先駆的なジャズの活動を繰り広げる。CPJ(コンテンポラリープログレッシヴジャズ)というコンセプトを立ち上げ、Junky Funk(キーボード系) LineDrive(ギター系) Jackpot(ベース系) Groove X(ドラム系) Fjord Sound(ボーカル系)の楽曲を演奏し、レコーディング、そして全国、海外(ドイツ、マレーシア、タイ、韓国など)にて活動。CPJから厳選した50曲の世界複雑な譜面集 mujik CPJ そこから厳選10曲を松井秋彦のマルチパフォーマンスでレコーディングしたalbum CPJそしてコンテポラリーなハーモニーやポリリズムまでを解説した前代未聞のジャズ理論書book CPJをはじめとして、オリジナルだけでも10枚以上のリーダー作CDを発表してきている。その全貌は多岐に渡り、常に未来的な、前例のないメロディー、ハーモニー、リズムを駆使した最先端の音楽を提供し続け、商業化の波に押し潰され衰退する世界の音楽にスパイスを贈り続けている。

Yordan Markov(ヨルダン・マルコフ)

1977年、ガドゥルカを中心地であるトラキア地方のノヴァ・ザゴラ市出身。7歳の頃よりガドゥルカを習い始め、17歳には町の舞踊グループのアンサンブルとして活躍。シュメン大学音楽科卒業後、ノヴァ・ザゴラ市の音楽教室でガドゥルカとソルフェージュを教える傍ら、近くの村の子供たちに歌を教えたり、ライブ活動を行う。2006年1月来日、まだまだ日本では馴染みの薄いブルガリア音楽を紹介しようと活動を始め、民俗音楽バンド《BALKAN》などに参加。2016年、アコーディオン奏者佐藤芳明らと共に《ヨルダン・マルコフ・ブルガリア五重奏団》を結成。活動開始から1年経たずに都内ライブシーンで話題となり、翌年1st album《Iztok》をリリース。

古館由佳子

岩手県宮古市出身。桐朋学園大学音楽学部卒業。ハンガリー・ブダペストにて、ハンガリー最高賞であるコシュート・ラヨシュ賞受賞者のボロシュ・ラヨシュ、ヴァイダ・バルナバシュにジブシーヴァイオリンを師事。2006年、ハンガリー国際ジブシーヴァイオリンコンクールにて、審査員特別賞、レマーニ・エデ協会賞、ハンガリー演奏家・舞踊家協会賞、をそれぞれ授賞。ロマ民族以外で、また、アジアの女性として初めての授賞として、ハンガリー国内外で話題をさらった。2012年と2013年には、ハンガリー国立博物館のコンサートに招聘され、大成功をおさめた。これまでに、シャーンタ・フェレンツ、ロビー・ラカトシュ、ラースロー・ベルキ等と共演。2006年に発売されたジブリ映画音楽CD「宮崎駿の世界〜ヴァイオリンとピアノの調べ」は、その年の年間ベストアルバム第三位に輝いた。2014年ロサンゼルスで行われたWCOFA(ワールド・チャリティ・オシップ・オブ・パフォーマンス)で6つの部門においてそれぞれ金メダル受賞、加えて五つのカテゴリーにおいてチャンピオンとなる。NHK深夜便出演、NHKクラシック番組にハンガリー語対訳提供。宮古市の実家は東日本大震災で被災。